

古本市を開催 プリンストン日本語学校



プリンストン日本語学校(平本秀次校長)は11日、古本市を開催した。対面授業が再開された昨年は、コロナ禍の制限で屋外での古本配布会だったが、今年はようやく従来の形で校舎内の2教室を使用して古本市を開催することができた。

生徒の家庭から寄付された古本を販売し、その収益が全額寄付されることで本校の運営にも寄与しているこのイベント。古本市の係にあたる保護者たちは数週間に渡り本の収集、仕分けと管理にあたり、当日も朝早くから本の搬入を行い、作者順や分野ごとに並べ準備を整えた。当日は図書係以外にも応援メンバーが加わり、多くのスタッフがイベントの円滑な運営のために奔走した。集まった古本は段ボール約300箱にもなり、絵本やマンガ、文庫本、料理本など、会場となる2つの教室にずらりと並べられた。クラスごとに先生に引率されてやって来た児童・生徒たちは、目を輝かせながら教室いっぴいの本を眺め、熱心に自分好みの本を選んでいった。

東京都立西高等学校
同窓会米国支部

同窓生
会員募集

nishi-doso-usa@hotmail.com

サーカスキャンプ

参加者を募集



ウエストチエスター・サーカス・アーツ (https://westchestercircusarts.com/circus-camps/) が主催するサーカスキャンプに、サーカスパフォーマーの山田愛さんがエリアルコーディネーターとして参加する。同キャンプは3つの会場、6月から8月まで開催されている。

山田さんは6月と7月、NY州カトナにあるハーベイスクール(The Harvey School)でエリアルトラピーズを指導する。キャンプでは山田さんを含めて6人のコーディネーターが朝9時から午後4時前まで、ジャグリングやアクロバット、マジックやエリアルフープなどを指導。最終日には生徒たちの成果を見せる発表会もある。参加対象年齢は6〜16歳。

また、マンハッタンにあるCiquehaus (https://www.ciquehaus.com/)、www.ciquehaus.com/にて大人向けのクラスでも指導している。2022年にオープンした新しいサーカススタジオで、プライベートクラスのみのため、その人にあつた内容・時間帯で学べる。

エリアルは場所や器具を設置するのに特別な条件を必要とする種目だが、それとは対照的に難しい条件を必要としないスタイルのアートイストとしても活動している。今年24日(土)はブルックリン・アメリカーナ・ミュージックフェスティバル (http://www.bkamf.com/) に参加予定。

フィラデルフィア日本人会主催「東和エッセイコンテスト」が22年目となる今年も開催される。中高生からの作品を募集している。同コンテストは、国籍に関係なく日本語を勉強する多くの若者が参加し、エッセイを通して美しい日本語の表現を競い合い、学

生時代の貴重な思い出の一つとなる事を目的としており、将来日米社会の相互理解を促進することを目的としている。

1999年に創設されたもので、今回のテーマは、中学生、応募方法や注意事項は「コンテスト」を参照。受賞者には12月中旬に直接連絡される。問い合わせは、フィラデルフィア日本人会、電話 215・840・4645 またはEメール phil@japhilly.org まで。

第23回運動会開催 NY補習授業校LI校で



NY補習授業校LI校(川崎淳一郎校長)は10日、第23回運動会を開催した。カナダの森林火災による大気汚染のため延期が懸念されたが、当日は青空が広がる素晴らしい運動会日和となった。

開会式では、川崎校長が「今日は良い風が吹いて

育英サタデースクールマンハッタン校(牧野佳代子ディレクター)園児児童生徒数124人は、2019年度以来となる大運動会を開催した。この日はオープンハウスとして外部からの見学者も参加し、体育室はぎっしりと観客に埋め尽くされた。

午前中は幼児部合同運動会、年長組の選手宣誓を皮切りに、かけっこや障害物競争(アイスクリーム運び)、玉入れ、ダンス、親子競技(大玉転がし)を行った。保護者の声援もヒートアップし閉会式ではそれぞれがメダルを首にかけ、大きな拍手に包まれた。午後は小中学生9学年が一堂に会しての大運動会、広い体育室を埋め尽くす保護者に囲まれながら、6男児2人が選手宣誓を行った。マンハッタン校恒例のパン食い競争は「どら焼きつかみ競争」となっており、高み棒に吊るされたどら焼きを、かけっこの助走とともにジャンプをしてそれぞれつかみとっていた。玉入れ、大玉レース、障害物競争のラケットレースや二人三脚など、それぞれの勝敗に一喜一憂しつつ、最後の目玉であるリレーを迎えた。

1999年に創設されたもので、今回のテーマは、中学生、応募方法や注意事項は「コンテスト」を参照。受賞者には12月中旬に直接連絡される。問い合わせは、フィラデルフィア日本人会、電話 215・840・4645 またはEメール phil@japhilly.org まで。

部門が「新しい友達の作り方」、高校生部門が「AI時代の豊かさ」とは、文字

Q 3年生になり勉強の内
容も難しくなり、特に漢字はなかなか覚えることが出来ません。何とかキヤッチアップしたいと親子でもがいています。つらい漢字の学習から少しでも楽しい学習にスイッチしてあげたいと思っています。我が家のよう漢字のハードルが上がるにつれて子供をどうにか導いてあげればよいのか、どういう言葉掛けをしてあげるとよいのか、アドバイスを頂けると有難いです。

A 各学年で習う新出漢字は、1年80字、2年160字、3年200字、4年202字、5年193字、6年191字で、中学生が一番多いことも、子供にとって漢字の勉強が大変になってくる感覚を抱く理由の一つでしょう。

結論は、嫌でも苦手でもあるが、やればできるのが漢字です。楽しい学習にスイッチする特効薬はなく、繰り返す以外にありません。少しでも興味をもたせるために、やはり工夫したいですね。

例えば、
例えは、
ここまでしたら、これだけしたら、休憩もしくは他の課題に移るといいうように、やる気が失せないよう、何を、どこまでやればいいのか、子供が見通しできるようにしましょう。
漢字は、平仮名よりもかっこいいと思わせる。
・語彙を増やす。これは、読書、読み聞かせ、家庭での日本語話かけが有効です。
・自作の漢字カード(クレヨン等使って、子供が興味を引くように作成)で寝る前の5分10分程度、アメリカ人の父親と競争をしたというご家族の話聞いたことがあります。特に、男の子は競争好きなのでやたら燃えて、妙に頑張るそうです。
・保護者のサポート(声掛け、手助け、点検、励まし)



育英サタデースクールマンハッタン校
観客ぎっしり、応援と歓声に
つまれた運動会

1・2年生のリレーと3年から中学生までのリレーでは、抜きつ抜かれるのデッドヒートで会場全体が興奮の渦に包まれた。子ども達も3年ぶりの観戦となりました。保護者も笑顔がいっぱい出ている1日となりました。

Q 3年生になり勉強の内
容も難しくなり、特に漢字はなかなか覚えることが出来ません。何とかキヤッチアップしたいと親子でもがいています。つらい漢字の学習から少しでも楽しい学習にスイッチしてあげたいと思っています。我が家のよう漢字のハードルが上がるにつれて子供をどうにか導いてあげればよいのか、どういう言葉掛けをしてあげるとよいのか、アドバイスを頂けると有難いです。

A 各学年で習う新出漢字は、1年80字、2年160字、3年200字、4年202字、5年193字、6年191字で、中学生が一番多いことも、子供にとって漢字の勉強が大変になってくる感覚を抱く理由の一つでしょう。

結論は、嫌でも苦手でもあるが、やればできるのが漢字です。楽しい学習にスイッチする特効薬はなく、繰り返す以外にありません。少しでも興味をもたせるために、やはり工夫したいですね。

例えば、
例えは、
ここまでしたら、これだけしたら、休憩もしくは他の課題に移るといいうように、やる気が失せないよう、何を、どこまでやればいいのか、子供が見通しできるようにしましょう。
漢字は、平仮名よりもかっこいいと思わせる。
・語彙を増やす。これは、読書、読み聞かせ、家庭での日本語話かけが有効です。
・自作の漢字カード(クレヨン等使って、子供が興味を引くように作成)で寝る前の5分10分程度、アメリカ人の父親と競争をしたというご家族の話聞いたことがあります。特に、男の子は競争好きなのでやたら燃えて、妙に頑張るそうです。
・保護者のサポート(声掛け、手助け、点検、励まし)

漢字を楽しく学習する方法

海外子女教育振興財団
岡本健 教育アドバイザー

漢字から逃げず、音訓読み、部首、画数、熟語集め、短文作り等を学年段階に応じて取り組むと、漢字の知識が深まり、自信が付きまします。漢字の成り立ちから興味を持って、覚えやすくなる漢字もありません。

努力を段階的に重ねていくと上達は加速的に訪れまします。目の前の子供を褒めたり、励ましたり、奮い立たせたりして、苦手を意識を少しでも取り除いてあげたいですね。

漢字から逃げず、音訓読み、部首、画数、熟語集め、短文作り等を学年段階に応じて取り組むと、漢字の知識が深まり、自信が付きまします。漢字の成り立ちから興味を持って、覚えやすくなる漢字もありません。

努力を段階的に重ねていくと上達は加速的に訪れまします。目の前の子供を褒めたり、励ましたり、奮い立たせたりして、苦手を意識を少しでも取り除いてあげたいですね。

週刊NY生活 教育なんでも相談室

岡本健 教育アドバイザー

リズムのつてすると楽しい。また、書ききりの字形が整わなくても気にならなない。

○第2段階 なぞり書き
手本の線からはみ出さないように、字形にまで気を配ります。この段階でのポイント「丁寧さ」です。

○第3段階 写し書き
このポイント「筆順の確認」と「丁寧に練習」の2つです。

○第4段階 予告テスト
練習の後、テストをします。

○第5段階 再テスト
間違えた漢字だけを練習します。

以上は一つの方法です。教育技術はさまざま、完成された教育技術というのは存在しません。お子さんに適した方法を見つけていきましょう。

漢字から逃げず、音訓読み、部首、画数、熟語集め、短文作り等を学年段階に応じて取り組むと、漢字の知識が深まり、自信が付きまします。漢字の成り立ちから興味を持って、覚えやすくなる漢字もありません。

努力を段階的に重ねていくと上達は加速的に訪れまします。目の前の子供を褒めたり、励ましたり、奮い立たせたりして、苦手を意識を少しでも取り除いてあげたいですね。

